

令和6年度
事業計画書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

公益社団法人日本綱引連盟

令和6年度事業計画書

方針

コロナ感染症が第5類に変更されこともあり、規制や制約が解除されたため、全国各地でさまざまな大会などが地方連盟をはじめとした関係者の皆様の努力によって開催されてきました。しかしながら、チーム数が大きく増加したとは言えない状況となっています。また、昨年は、理事会を満足に開催できない状況にもなり、会員の皆様にご心配とご迷惑をおかしてしまいましたことを深く反省するとともにお詫び申し上げます。

そうした状況の中ですが日本綱引連盟（以下、連盟と呼ぶ）が最優先課題として取り組まなくてはならないことが「自主財源の確立」です。新体制となって2年が経過しましたが、連盟の自主財源確立については未だに達成できておりません。さまざまな機会を活用し、企業訪問や声掛けなど実行してきましたが、残念ながら大きな成果は得られていません。しかし、それ故に諦めてはならず今年度以降は、いままでの行動を評価・反省し更なる活動を実践して「自主財源確立」を達成しなければなりません。

登録費などは、連盟運営にとって財政面で大きな影響を及ぼしていますので、今年度も昨年度に引き続き積極的に地方連盟との「信頼」「連携」「協力」を強く意識して協働して参ります。また、研修会などの開催を実施して、受講者数の拡大を図っていく必要がございます。特に、公認スポーツ指導者コーチ1講習会は、JSPOが提言している、「全国大会」規模の大会においては、各チームの監督・コーチ・指導的立場の人の資格所持が必須となりますので、積極的に取り組んで参ります。さらに、連盟としては綱引競技の普及を目的とした、小学生や綱引初心者を対象としたさまざまなイベントを、全国各地で開催する計画を地方連盟の協力の下、立案していますが、そのような場面でも指導者資格は必要となります。それに伴い、スポーツ庁やJSPOが現在取り組んでいる「中学生の部活動地域移行」についても積極的に参画し、その世代の競技者獲得に取り組めます。そして、スポーツ界における「暴力行為」「パワハラ・セクハラ」などの撲滅にも積極的に対応します。そのためにも、コンプライアンスの遵守のための各種制度整備（ガバナンスコード）も必要でありますので、法務委員会と関係する各委員会が協力・検討し実行しなければならないと考えます。

全国の綱引関係者の皆様とともに、綱引競技の普及・発展に取り組んで参ります。

目標

1 財源の確立

今年度は何としても「自主財源」の確立が避けて通れない問題となっております。そのためには競技者などの登録数の拡大が必要となります。その中でも、国民スポーツ大会の正式種目への昇格には、ジュニア・ユース層の連盟への正式登録数も必要となりますので、今年度の課題として検討して参ります。また、より多くの法人・個人に対して支援を呼びかけ、各種事業の合理化を実現し、今年度も各種経費の節減に適切に取り組めます。

① 公式サポーター制度による寄附金募集事業の展開

公式サポーター制度の活用により、今年度も一般・企業からの支援を受けて事業に活用してまいります。また、この制度による寄付金控除のメリットを生かし、大口スポンサーの開拓に繋げられるよう活動を強化してまいります。昨年度は、個人・企業からのサポーターが大きく減少してしまいましたので、今年度は更なる強化が必要となります。そのためには、この制度を、認知していない会員が全国に多く存在しているのも事実ですので、地方連盟と連携して周知を強化します。

② 各種販売活動

今年度は、液体チョークを含め競技者・審判員などに必要な物品などを積極的に開発し販売します。特に、シューズについてはメーカーなどと協力し対応します。

③ 各種登録費などの納入期限・申込期日厳守の取り組み

連盟運営の根幹にかかわる加盟分担金・正会員費・継続競技者登録費・継続審判員登録費の納入期限の厳守を徹底いたします。また、各種大会や各種研修会などの申込日の締め切り日厳守並びに、各種申込書などのメール送信・郵送も厳格に取り扱います。

2 ジュニア・ユース対策

方針中でも触れましたが、現在スポーツ庁や JSPO で全国的に取り組んでいる「中学生の部活動地域移行」の政策に積極的に参加していきます。中学生の土日祝日の部活動を地域コミュニティに移行することになりました。そうした中で現実問題として、部活動（スポーツ系）に参加している中学生が減少していることも事実です。これは、まさしくジュニア・ユース層の発掘や育成の大きなチャンスと捉え、積極的に行動していきたいと考えています。ただし、これらに関しては、「指導者」としての資格が必要になります。「公認スポーツ指導者コーチ 1」の講習を受けて資格者となり、地域コミュニティで競技綱引を指導し、ジュニア・ユース層の拡大に取り組めます。

ジュニア・ユース世代への競技普及事業として、つなフェス「それいけ！つなひきスクール」を開催する。運動会の綱引きから競技としての綱引へ興味を向けるよう、遊びを通して綱引を学ぶことを目的とし、全国各地の地方連盟と連携を取り、年に2～3回の開催を目指す。

3 医科学分野の取り組み

コーチ 1 研修会の中でもカリキュラムとして取り上げておりますが、屋内での傷病の発生対策が必要となっております。特に、8月に開催される「全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会」においては、「熱中症」などの対策を万全の体制で臨む必要があります。また、技術審判員会と検討しながら、綱引ポジションなども含め、どのような体勢・ロープラインの取り方が良いのか、コーションを取られないのか等研究して、科学的な理論の上での綱引技術等の周知活動を行っていきたいと思います。

4 アンチ・ドーピング教育

アンチ・ドーピング教育につきましては、JADA と連携しながら、連盟所属の「承認 Educator」に積

極的に活動していただくために、「アンチ・ドーピング委員会」を明確化にして、綱引競技者のアンチ・ドーピング教育を展開してまいります。ドーピング行為は、競技者本人の競技能力が一時的には向上するかもしれませんが、本人の身体をむしばんでしまい、結果として競技者としての健全な体を害することになります。また、スポーツの本来の素晴らしさや感動を奪うことにもつながります。さらさまざまな大会でも、JADAによるドーピング検査が実施されます。綱引競技者をドーピングから守ることも、連盟の重要な役割です。

公益目的事業（公1）綱引競技の普及啓蒙事業

国内外における競技会の開催

【令和6年度 主な連盟主催・後援大会日程】（別紙資料1参照）

各専門委員会活動

技術審判委員会（詳細日程は別紙資料3参照）

1 中央研修会の開催

東日本ブロック（9月14日群馬県伊勢崎市市民体育館）および西日本ブロック（現時点未定）の各会場において、競技者・審判員・チーム指導者などを対象に競技規則などの共通理解促進を図る研修会を技術審判員会などが主体となり開催しますが、審判員の規則の理解と競技者の規則の理解に乖離が見受けられるため競技者やチーム監督、チームの指導的立場にある人たちのさらなる参加を求めることとしたいので、各地方連盟は積極的に声かけなどを実施して頂きたい。（アンチ・ドーピング教育も併せて実施のため）

2 2024 公認審判員 AAA 認定試験の開催

4月初めまでに地方連盟、各ブロックの受験希望者調査を行い、最低受験者数を検討する。もしも最低受験者数に届かない場合は、開催を中止とし、隔年開催などを検討する。（最低受験者数は、講師派遣などにかかるさまざまな費用を講師自身が負担にならないようにするためである。）

今年度の予定としては、実技試験は西日本綱引選手権大会会場および東日本綱引選手権大会会場を予定しているが、どちらか一方の会場になる場合もある。筆記試験、口頭試験については、10月19日～20日に代々木オリンピック記念青少年センターを予定している。

3 2024 公認審判員 AA 認定試験の開催

新規のAA審判員資格取得講習会につきましては、ブロック連盟が実施し、講師は必ず「技術審判員会」の委員、もしくは、技術審判員会より委嘱を受けた者が、技術審判員会などが作成した試験問題を使用し実施いたします。なお、講義に使用する各資料は、技術審判員会委員長の承認を得ることが必要です。

4 スキルアップ研修会の開催

AAA審判員を対象とした審判技術のさらなる向上や競技規則の全国統一理解の促進などを目的として、技術審判員会などが主導となり実施する。

5 ルールブック等の発行

隔年ごとに、ルールブックと綱引競技必携を発行します。そのためのプロジェクトチームを設置しますが、技術審判員会委員だけでなく、その都度、競技規則などに精通し協力していただける方を委員会で検討し、チームに参加していただくこととしたいです。

公認スポーツ指導者育成委員会（コーチ1育成委員会）

公認スポーツ指導者育成講習会は、JSPOが「第3期スポーツ基本計画」で指導者資格の義務化を定め、2025年度には、中央競技団体が主催する大会においては資格保有が必須となっていることから、全ての競技団体がこれに向けて推進しているところです。

当連盟も専門講習の内容の見直しを図り、受講される会員の皆様の負担をさらに軽減できるよう受講のあり方などを含め検討してまいります。また、既に指導者資格を保有している方々に向けては、更新研修の必要性をご理解いただき、現在のJSPOなどの推進方針に沿った知識・技術等の取得に務めていただきたいと思います。そのため、更新講習の具体的な内容を策定してまいります。スポーツ庁が掲げている基本計画の目標である指導者の地域への流動化、指導者資格の義務化に向けてさらなる強化を図って参ります。（年間計画は別紙資料2参照）

組織強化委員会

1 情報誌「TSUNA・綱」の発行

4月 2024全日本綱引選手権大会、チーム紹介、地方連盟の情報等
（但し、補助金の決定時期により変更がある。）

8月 連盟総会報告、チーム紹介、地方連盟の情報等

10月 2024全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会報告、チーム紹介、地方連盟の情報等

令和7年1月 東・西日本綱引選手権大会報告、各地方大会の情報等

2 組織拡大のために各地方連盟との連携

3 その他組織強化に関すること

国際委員会

今年度は国際連盟との関わり方について、連盟としての方向性を一定程度明らかにしておくべき時期に来ていると考えられます。委員長においては英会話などが必須となり、そのことからなかなか担い手が現れないことが現状であり、そのことが、チームなどにご苦勞をおかけしています。また、国際審判員の扱いについても、連盟として「規則化」が必要ではないでしょうか。そうした事柄を含め、今年度中にはしっかりとした国際連盟との関わり方を定義していきたいです。

総務委員会

今年度は特にこれといった方針はありませんが、事務局体制の整備強化や、自立財源確保に向けたさまざまな取り組みを、皆様のご理解とともに、地方連盟も含めた全国的な動きが必要と思います。

特に「サポーター制度」の活用を全国の地方連盟および、全国のチーム関係者の皆様と連携しながら少しでも多くの人・企業・商店等に広報活動で周知し、サポートしていただけるようにしたいと思います。

シューズについては各スポーツメーカーに伺い、全国の競技者の皆様の為に取得できるよう努力いたします。

5 綱引文化推進事業

全国各地で開催されている、綱引に関するさまざまな伝統行事、イベントなどにも積極的に協力し、伝統文化の継承・発展、地域活性化に寄与していきます。

令和6年度 主な連盟主催・後援・公認大会日程

月 日	大 会 名	会 場
4月	世界インドア綱引選手権大会	スウェーデン
6月30日	西日本綱引選手権大会	ダイハツ九州アリーナ
8月3・4日	2024全日本ジュニア・ユース選手権大会	駒沢室内球技場
8月24・25日	SAGA国スポ公開競技大会	唐津市文化体育館
9月15日	東日本綱引選手権大会	伊勢崎市市民体育館
令和7年3月1 日・2日(予定)	2025全日本綱引選手権大会	未定

連盟主催大会	2024全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 2025全日本綱引選手権大会 第78回SAGA国民スポーツ大会
連盟後援大会 (予定)	西日本綱引選手権大会 東日本綱引選手権大会
国際大会	4月スウェーデン大会にはチーム派遣はありません

※ 東西選手権大会を後援大会と設定したのは、AAA審判員認定試験実技が実施されるためです。公認審判員試験が実施されるこの大会は、優勝・準優勝チームが翌年の全日本綱引選手権大会に優先出場の権利が与えられています。

日本綱引連盟における東西選手権大会の位置づけについては今後検討の余地あり

別紙資料2参照

令和6年度技術審判委員会活動計画

開催日	事業名	会場	備考
9月14日	2024第1回中央研修会 (群馬会場)	群馬県伊勢崎市 (伊勢崎市市民体育館)	受付 13:00~ 講習会 13:30~
未定 9月~10月	2024中央研修会 (兵庫会場)	未定	受付 13:00~ 講習会 13:30~
7月7日	2024AAA認定試験 (実技試験)	未定	西日本大会 (未定)
9月15日	2024AAA認定試験 (実技試験)	群馬県伊勢崎市 (伊勢崎市市民体育館)	東日本大会 (群馬県伊勢崎市)
10月 19日 20日	2024AAA認定試験 講習会 筆記試験・口頭試験	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	19日受付13:00 講習会 13:30~18:30 筆記試験9:30~11:30 口頭試験13:00~16:30
未定	スキルアップ研修会	未定	未定
随時	2024AA審判員資格取得講習会	ブロック単位会場	
随時	技術審判委員会	会場未定・ZOOM	集合1回・他ZOOM

※ 各プロジェクトチームの会議については、必要な時期に適切に開催します。

予定しているプロジェクトは

スキルアップ研修会・綱引必携・RULEBOOKなど

別紙資料3参照

公認スポーツ指導者幾瀬委員会活動計画

開催日	事業名	会場	備考
7/13・7/14	種目別有資格者更新研修	代々木オリンピック記念青少年 総合センター	通い
9/28・9/29	公認コーチ1養成講習会 I		通い
11/30・12/1	公認コーチ1養成講習会 II		一泊
未定	種目別有資格者更新研修	未定（西日本地域を予定）	通い
随時	育成委員会	会場未定・ZOOM会議	集合は2回
随時	各プロジェクト会議 (更新講習会・次年度新規講習)	会場未定・ZOOM会議	集合1回 他ZOOM